

まちの話題

市民の安全を見守る

霜仁会からAEDの寄贈

9月25日(木)、市民の健康増進と生命の安全を確保するために役立てて欲しいと、社団法人霜仁会(山口大学医学部同窓会)から光市に、AED(自動体外式除細動器)一式が寄贈されました。東良輝会長から末岡市長に手渡された機器は一歳から使用できる最新式。今後はイベントなどに携行され市民の安全を見守ります。



「エンヤ」の掛け声や華麗な花火が会場を魅了

早長八幡宮秋祭り、みたらい湾花火大会

10月12日(日)、室積地区で、早長八幡宮秋祭りと第1回みたらい湾花火大会が開催されました。

早長八幡宮秋祭りは江戸時代から伝わる伝統祭事でひかりの秋の風物詩。神社の形態を整えた山車を曳く行列は全国的に見ても大変珍しく、沿道からは若衆が「エンヤ」の掛け声とともに勇壮に山車や踊山車を曳き廻す様子が見受けられました。

一方、日暮れともに行われた花火大会で打ち上げられた花火の数は約1500発。御還幸の熱気が立ち込める中、大小さまざまな花火がみたらい湾上空を華麗に彩り、会場は大いに盛り上がりました。



いい汗たくさんかきました

市民体育大会

10月13日(祝)、絶好の秋晴れの中で総合体育館を中心に市内四会場で市民体育大会が開催され、多くの市民が、スポーツやゲームに、一日汗を流しました。

主催の総合体育館では、キンボールやアジャタなどのニユースポーツ、また、グラウンドゴルフや、大なわとび、綱引きなどの気軽に参加する競技が行われました。

参加した皆さんは、各地区公民館の有志や少年野球チーム、スポーツ少年団などさまざま。親子連れでの参加も目立ち、スポーツの秋を楽しんでいました。大会の運営にあたられた、役員やボランティアの皆さん、大変お疲れさまでした。



花をつける日が待ち遠しい

ニジガハマギクの定植

10月7日(火)、浅江小学校6年生109人が、総合的な学習の時間を利用して、6月にさし芽をしたニジガハマギクの定植を行いました。浅江小学校では、隣接する潮音寺山に自生するニジガハマギクが減少しているため、光園芸連絡会や浅江公民館潮音寺山里山づくり推進部、光ピンフレンズの方などの指導のもと、平成17年から取り組んでいます。

指導者から植え替えに際しての注意やアドバイスを聞いた児童たちは、13〜15cmに育った苗を、浅江小学校潮音寺山ランド入口付近に定植。夏の間のお世話が大変だったようですが、どの苗も立派に育っていて、児童たちも花をつける日が待ち遠しいという様子でした。

